

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」高砂事業所

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			対面を避けた配置、個別・集団スペースで分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員数を遵守している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			外・内ともに大きな段差ない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			週に 1 度 PDCA サイクルを実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査後結果を元に会議を行い、改善対策案を考え取り組む。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所ごとのホームページにて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に 1 回研修実施、各自で自由参加の研修へ参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方に聞きとりを行い計画書作成に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で用いるアセスメントツールを元に状況を把握している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当指導員を中心に事業所内で検討を行い、内容目標に対して立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々の状況に応じて内容に変化を加えたプログラム作りをしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	児童の状況に応じてプログラムを立案しているが、個別になっていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別のみにならないように同時に他者と関わられるようにしている。1 人 1 人に合わせた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼・終礼を行い情報共有を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	ツールを使い共有しているが業務時間外になることもある。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援後に記録作成を行っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回見直し実施。児発管とモニタリング作成の際に話し合い、計画の見直しと更新を行う。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			担当指導員、児発管も参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			定期的に連絡を行い、情報交換を行っている。送迎は行っていない。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアが必要な子どもの利用はない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前には相談員を通して話し合いの場を設けるようにしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		卒業したらそれまでになっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	他所との交流はできていない。プライバシーの観点から実施には至っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			開催の都度、管理者及び児発管が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			フィードバック時に指導員が支援の様子、子どもの状況について話し、最近の様子について聞き取りを行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時、説明と同意を頂いている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			要望があれば時間を取り、個別に話し合う機会を設けている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	未だに開催する事には至っていない。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			利用契約時に対応について説明を行っている。苦情に対して真摯に向き合い、事業所内で会議を行い対応を行う。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログやLine等SNSツールを活用している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫にて厳重に保管している。個人情報を含む書類はシュレッダーしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一般的にならないように心掛けている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所外との関りはもてていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルに準じて研修実施。防災防犯訓練は月に1回実施している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災防犯訓練は月に1回開催し、年度に3回は利用者様も交えて防災訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回研修実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			利用契約時に身体拘束について説明を行い、同意書を頂いている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事、おやつの提供はしていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの発生あれば、記録作成し情報共有を行っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」高砂事業所

保護者等数（児童数）：33名 回収数：28名 割合：85 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	4	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	5	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	12	1	事業所内に段差は無く、玄関前にスロープを設置している。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	27	1	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	27	1	0	
保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	17	9	他の子供達を知らない。プライバシーに配慮した上で活動機会を検討したい。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	0	0	その日行った事など細かく教えてもらえるのでありがたいです。 職員によって差が出る。 フィードバック時や随時ご相談を受けていきながら、課題を設定していきたいと思います。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	2	1	色々な相談をきいてもらえて助かっています。 今後も継続していけるようにして参ります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	13	14	きらり広場やイベントを実施し、活動機会を設けたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	9	0	子どもから何も言われていません。 今の所苦情は全くありません。 事業所内に掲示してご案内しております、より分かり易いように色を付けるなど、目に留まりやすいような工夫も凝らしながら対応して参ります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	11	4	よくわかりません。 Line@やホームページ上でブログを定期的に入れて情報発信や連絡を行っております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	3	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	2	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	6	5	防災訓練の案内を行い、年に3回利用者様も参加して頂く機会を設けております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	27	1	0	他の学校のお友達との交流ができるのが楽しいと言っています。 集団の時間がある場合は、感染対策や予防に留意しつつ、他者との交流の機会も作る事ができるようにして参りたいと思います。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	26	2	0	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。